

代表質問の要旨

※本文は質問者自身の原稿によるものです

- 会 派 名
- 新 政 会
- 市政同志会 2015
- 市民派連合
- 清風クラブ
- 日本共産党
- 公 明 党

新 政 会
 質問者 金子 勝寿
 横沢 英一・牧野 直樹
 金田 興一
 持ち時間138分



◆国道拡幅事業

問 国道19号拡幅事業の進捗状況はどうか。

答 現在、松本市境から高出交差点までの約6.1kmのうち、広丘駅南までの塩尻北拡幅事業2.8kmは平成24年10月に完了し、渋滞の解消、歩行者の安全確保、店舗の新規出店など、4車線化による効果を強く感じている。また、九里巾交差点を中心とした約800mについては、拡幅予定の30mの幅員で現在用地買収をすすめており、用地取得率は40%となっている。

◆長畝交差点の整備

問 通勤時の渋滞解消を目的とした、国道20号、長畝交差点の右折専用レーンの延長について、その後進展はあったか。

答 国土交通省長野国道事務

所への要請、さらにFパワープロジェクトに関連し長野県副知事による現地立ち会いも考えている。

◆県道63号松本塩尻線（片丘線）の整備について

問 懸案となっている片丘線の南熊井地域の拡幅についてはどのように考えているか。

答 狭いカーブも多く、また大型車を含めた交通量も多いことは課題区間と認識している。この区間は長野自動車道が整備された際に、現道の改良または一部バイパス化による整備が検討された経過があり、平成12年2月には、新茶屋塩尻線のバイパス化、塩尻松本線の一部拡幅のルート案が示され基本設計実施について地元説明会が開催された。しかし、地域の皆さんに多く



狭い道路をすれ違う車

の意見をいただく中で、ルート確定には至らなかった。いずれにしても、拡幅改良については、地権者、地域の皆様にご協力をいただかないと実現できない事業であり、地域からの要望があれば、県と相談していく。

問 小学生等の通学路として片丘線の現状をどのように感じているのか。

答 イライラ運転による危険な状況がたくさんある。子育て世代の保護者はこのような状況に危機感を募らせている。

問 県道ではあるが、地元として要望がない限り、地域に任せるのか、それとも必要なのはやるのか。市長の考えはどうか。

答 旧片丘南部保育園入口付近から改良が始まると考えている。PTA等地域全体で力を合わせていくことが必要で、現実的な努力をしていかなければならない。地域からの要望がなければやらないということではない。

◆社会福祉センターの閉鎖と代替施設の改修について

問 昨年急きょ閉鎖の発表が行われた。その後、大門、塩尻東、北小野を含め4月以降の各地区に対する説明状況は